

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	東砂第四保育園
施設所在地	江東区東砂7-17-35-101
法人名	江東区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・自然

<テーマの設定理由>

「アリさんのおうちはどこ？」 「雨って何？」 「冬ってどこから来るの？」
こどもたちの声から、こどもたちの世界を知りたい！という思いでこのテーマを設定した。
大人では当たり前を感じている四季をこどもたちはどのように感じているのかを探究活動を通して学んでいく。

2. 活動スケジュール

・各クラス毎月実施し、下記月にて保護者へスケッチブックで周知を行う
1歳：5月、8月、10月、11月
2歳：5月、9月（講師来園）、10月（講師来園）、11月（講師来園）
3歳：5月、8月、10月、11月
4歳：5月、6月、7月、11月、12月（すくわく園外活動）
5歳：5月、7月、10月、12月（すくわく園外活動）
・9月 講師による園内研修実施「すくわくプログラムの基本的な考え方と進め方」
・1月、2月保護者会で年間すくわく活動実施報告をパワーポイントを使用して説明。また全クラス保護者向けに活動報告を掲示する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

画用紙（白・黒）、砂、どんぐり等自然物、絵の具（赤・青・黄色）、筆、机、椅子、巧技台、仕切り板
動的あそびとなる巧技台や静的あそびとして絵の具を机の近くに準備していった。こども達が机で観察を行った際に、周りに目が向けられるように座る位置も考慮していった。

4. 探究活動の実践

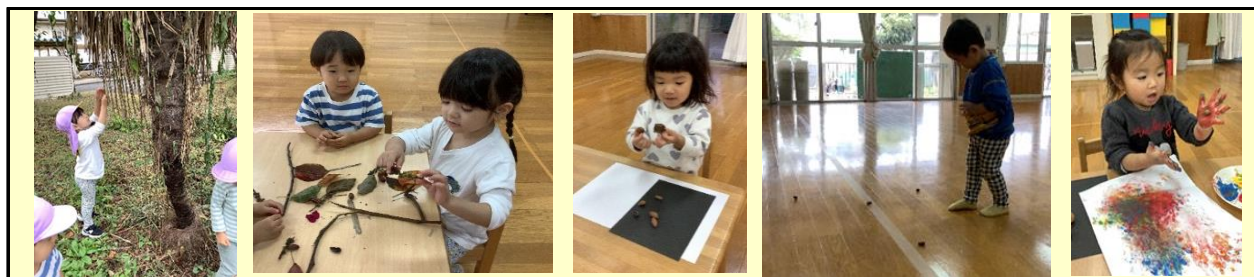
<活動の内容>

1歳：季節ごとの自然物に触れたり、ちぎったり等、感じたままに表現し探求する。
2歳：身近な季節の自然物に触れて探究する。
3歳：年間を通して、身近な自然を通しての「色」「感触」に着目して行った。制作で大きな虹を作ったり、カタツムリやアリなどの飼育をクラスで行った。
4歳：自分だけのすくわくカメラを作成し、散歩先や園庭にて使用。カメラを通して見た景色や、こどもが感じる色を、いろいろな形で表現していった。
5歳：色シートを作成し、自然物の色に着目をして探索を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<2歳児クラス>

形や色の違うどんぐりを集めて、どのようにあそびへと変化させていくのかを探究した。
こどもによって、どんぐりの内側に注目している姿があれば、先端やへそのところ、殻斗にも興味を示す様子が見られたり、最初から、「どんぐり」と名付けている子もいれば、保育士に「これがママで、これがパパ、これが赤ちゃん。」と言って、自分の家族を紹介する子の姿も見られていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な自然物を自分に置き換えて、同じ仕草や動き方を真似たり、どんぐりそのものになりきることがあそびとなっていた。こども一人ひとり、目の前にある自然物に対する感性や着眼点が違うため、少人数における探究の良さを感じた。